

各 位

会 社 名 明豊ファシリティワークス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大貫 美  
( J A S D A Q ・ コード 1717 )  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役 経営企画本部長 大島 和男  
電話 03-5211-0066

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 修正の内容

平成 30 年 3 月期通期 個別業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	5,200	602	600	414	円 銭 35.81
今回修正予想 (B)	5,800	602	600	428	36.82
増減額 (B-A)	600	-	-	14	
増 減 率 (%)	11.5	-	-	3.4	
(ご参考) 前期実績 平成 29 年 3 月期	5,809	633	593	427	37.73

#### 修正の理由

当社の売上高は、当社と顧客との契約形態がピュアCM契約（工事原価を含まないフィーのみの業務委託契約。図1参照。）か、アットリスクCM契約（工事原価を含む請負契約。図2参照）かで大きく異なります。また、どちらの契約形態を選ぶかは、顧客がプロジェクト毎に選択可能であります。

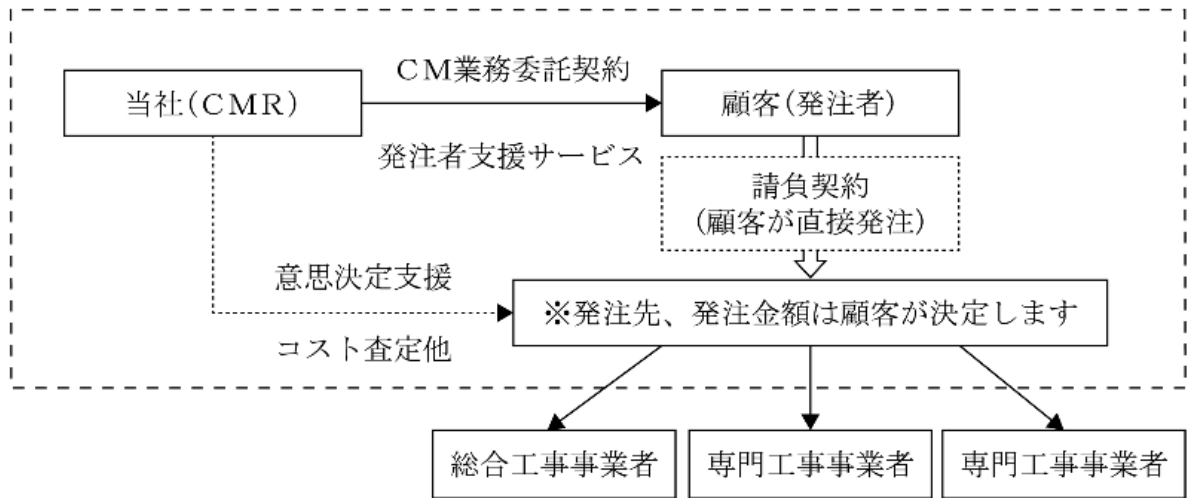
当事業年度は、前事業年度にも増してピュアCMが顧客から選択される見込みで売上高を 5,200 百万円と予想しましたが、アットリスクCM契約が顧客にとって大きなメリットになるプロジェクトについて当社が顧客ニーズに応じて提案を行なった結果、アットリスクCM契約による売上高が前回予想に比べ増えたことから、売上高は前回予想 5,200 百万円から 5,800 百万円になる見込みとなりました。

尚、アットリスクCM契約はピュアCM契約と比べて、売上高と売上原価がほぼ同額で増えることから、利益面に対する影響は殆どありません。

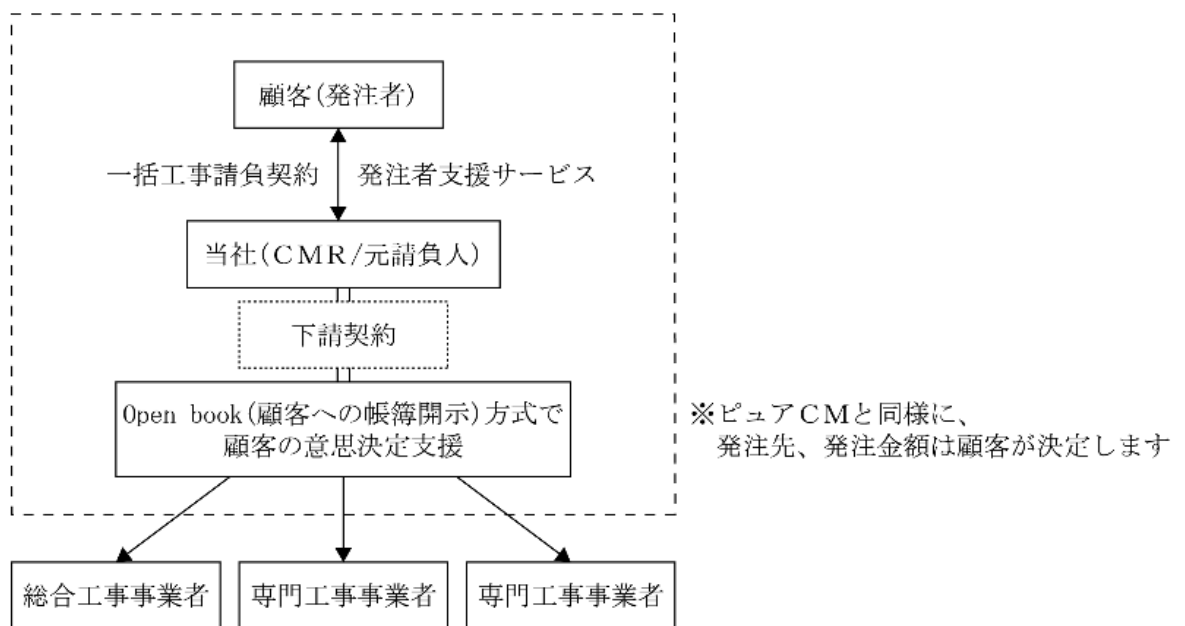
社内で管理する粗利益ベースでの当事業年度における受注高及び売上高は、過去最高を記録する見込みであります。受注案件のうち長期案件については、来期以降に売上が計上されることから、当事業年度の営業利益、経常利益につきましては、前回予想を据え置きます。

当期純利益については、法人税の所得拡大促進税制に基づく法人税額の特別控除 14 百万円適用される見込みになったことから、前回予想 414 百万円から 428 百万円になる見込みとなりました。

(図1) ピュアCM方式の契約関係（業務委託契約）は次の通りであります。  
 当社はマネジメントフィーのみを売上計上します。



(図2) アットリスクCM方式の契約関係（請負契約）は次の通りであります。  
 当社は完成工事高（マネジメントフィーを含む）を売上計上します。



(注) 上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値と異なる可能性があります。

以上